

13:44 天の御国は、畠に隠された宝のようなものです。人はその宝を見つけると、それを隠しておいて、大喜びで帰り、持ち物を全部売り払ってその畠を買います。

13:45 また、天の御国は、良い真珠を捜している商人のようなものです。

13:46 すばらしい値うちの真珠を一つ見つけた者は、行って持ち物を全部売り払ってそれを買ってしまいます。

13:47 また、天の御国は、海におろしてあらゆる種類の魚を集め地引き網のようなものです。

13:48 網がいっぱいになると岸に引き上げ、すわり込んで、良いものは器に入れ、悪いものは捨てるのです。

13:49 この世の終わりにもそのようになります。御使いたちが来て、正しい者の中から悪い者をえり分け、

13:50 火の燃える炉に投げ込みます。彼らはそこで泣いて歎きしりするのです。

13:51 あなたがたは、これらのがみなわかりましたか。」彼らは「はい。」とイエスに言った。

13:52 そこで、イエスは言われた。「だから、天の御国の弟子となった学者はみな、自分の倉から新しい物でも古い物でも取り出す一家の主人のようなものです。」

13:53 これらのたとえを話し終えると、イエスはそこを去られた。

13:54 それから、ご自分の郷里に行って、会堂で人々を教え始められた。すると、彼らは驚いて言った。「この人は、こんな知恵と不可思議な力をどこで得たのでしょうか。

13:55 この人は大工の息子ではありませんか。彼の母親はマリヤで、彼の兄弟は、ヤコブ、ヨセフ、シモン、ユダではありませんか。

13:56 妹たちもみな私たちといっしょにいるではありませんか。とすると、いったいこの人は、これらのものをどこから得たのでしょうか。」

13:57 こうして、彼らはイエスにつまずいた。しかし、イエスは彼らに言われた。「預言者が尊敬されないのは、自分の郷里、家族の間だけです。」

13:58 そして、イエスは、彼らの不信ゆえに、そこでは多くの奇蹟をなさらなかつた。

「天の御国」は「持ち物を全部売り払って」でも、手に入れる価値のあるものです。また「天の御国」では、「良いもの」と「悪いもの」とがはっきりと区別されるほど、価値観や善悪や正誤が明確です。私たちも自分のあいまいさを、いつまでも続けることはできないのだと知って、その信仰の行いを明確にしましょう。

イエス様を信じようとしない人は、どんなことでも批判のタネにしようとします。郷里では、イエス様の家族が普通の人であることで、イエス様を信じようとしませんでした。神が人とななければ罪の贖いは実現しませんでしたが、その人となられたという事実が、不信者にはつまずきとなるのです。

イエス様は彼らには奇跡の力を見せて、それが信仰につながらないと判断なさって、奇蹟を行わなかったと思われます。

心からイエス様を尊敬し、それ以上にあがめて、信仰を持って、奇蹟のわざをしていただけるようあります。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

